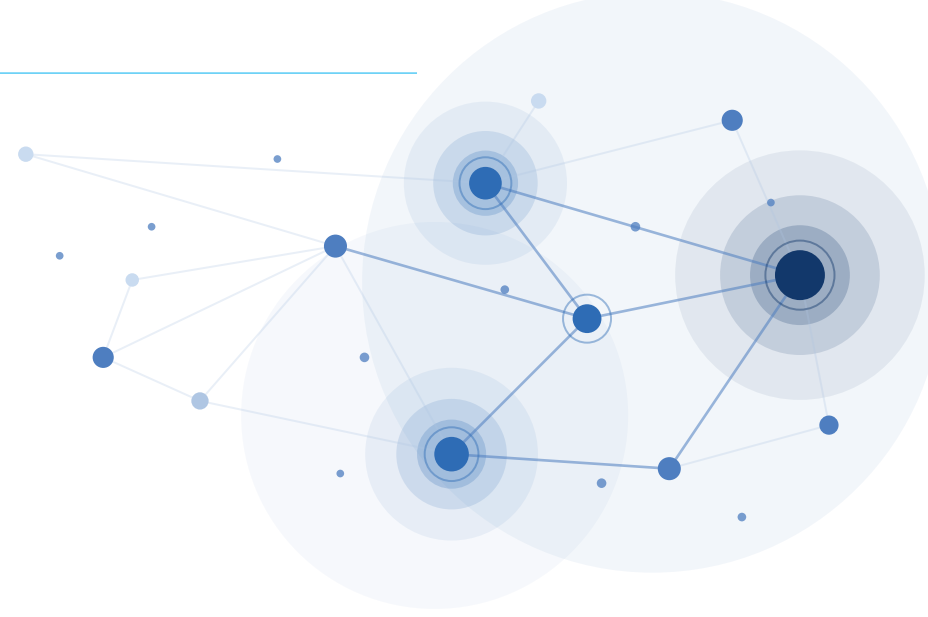


Innovate Forward



DIGITAL TRANSFORMATION

DX経営の取り組み



株式会社東北システムズ・サポート



当社は1976年の創業以来、システム開発事業を中心に、お客様の課題解決に取り組んでまいりました。
近年では、RFIDの技術を活かしたソリューション事業を通じて、データ活用による業務改革支援にも取り組んでおります。

一方で、デジタル技術の急速な進化や労働人口の減少、お客様ニーズの多様化または高度化により、私たちIT企業に期待される役割は、単に「システムを作ること」から「事業課題を解決すること」へとウェイトが大きくシフトしています。

私たちは、2024年3月に株式会社DTSの連結子会社となったことを追い風として、このデジタル技術や弊社を取り巻く環境の変化を飛躍・成長の機会と捉え、社内情報基盤のDX化と、お客様の業務革新や経営革新を支援するDXパートナーへの進化を並行で進めております。

具体的な施策としては、2024年～2025年にかけて社内の情報基盤のDX化から着手し、人事・労務・会計・経営管理等の各管理業務について、データに基づく迅速な意思決定を実現するための基盤構築を進めてまいりました。

今後、システム開発事業においてノーコード・ローコードの技術や手法の研究を、また、RFIDソリューション事業では、売RFID技術とクラウドサービスを用いて、タイムリーなデータの蓄積・分析・活用による高付加価値サービスの提供を強化してまいります。

DXは、単にシステムを高度化するための手段ではなく、企業価値を高めるための“革新手段”です。当社は「Innovate Forward」の理念のもと、自ら革新を続け、お客様とともに新たな価値を創造し、持続的な成長を実現してまいります。

株式会社 東北システムズ・サポート
代表取締役 下川潤



Contents

01

DX経営方針

DX Management

02

DX戦略

DX Strategy

03

DX推進計画

DX Roadmap

04

DX推進体制

DX Governance

05

定量指標

KPI

06

情報セキュリティ方針

Security Policy



1

事業構造の変革

これまでの常駐型システム開発事業から受託型SI事業やソリューション・サービス提供型事業へのウェイトシフトを図り、自社ブランドを抜本的に転換する。

2

顧客の新たな企業価値を創造

デジタル技術とデータの利活用ノウハウを蓄積・発揮し「お客様のシステムを作る会社」から、「新たな企業価値を創造するITパートナー」へと転換する。

3

自社経営基盤の革新

全社横断的にDXを推進するKPIを掲げて実行し、データドリブン経営の実現と自らの企業価値向上を推進する。



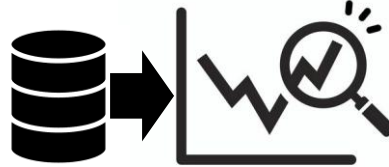
1



事業構造の変革

- ✓ RFID技術を活用した新規ソリューション『MONiSTOR』の拡販
- ✓ 自社資産である開発センター有効活用したマネージドサービスの事業化

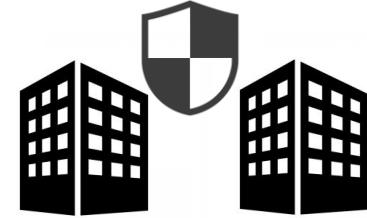
2



顧客の新たな企業価値を創造

- ✓ 脱ホスト要件の実現、データ基盤の整備等、価値の深化を支援
- ✓ AIを活用し業務効率・システム運用効率を向上するソリューション基盤を提供

3



自社経営基盤の革新

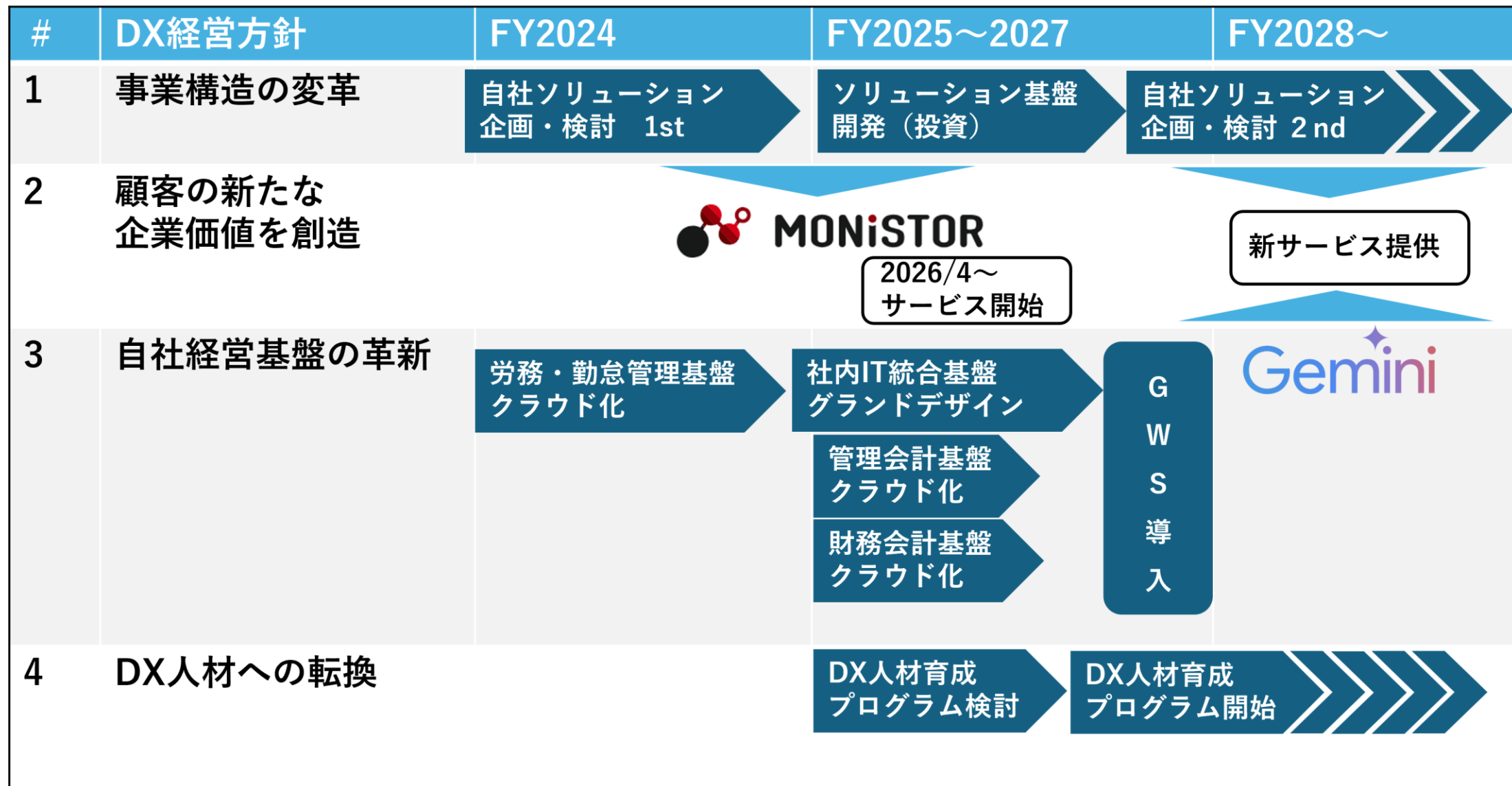
- ✓ 経営の可視化と迅速な意思決定を可能とするための管理基盤（財務・人事・労務）を構築
- ✓ DTSグループ共通のITガバナンス要件に準拠し事業継続性を担保するための社内IT基盤の最適化

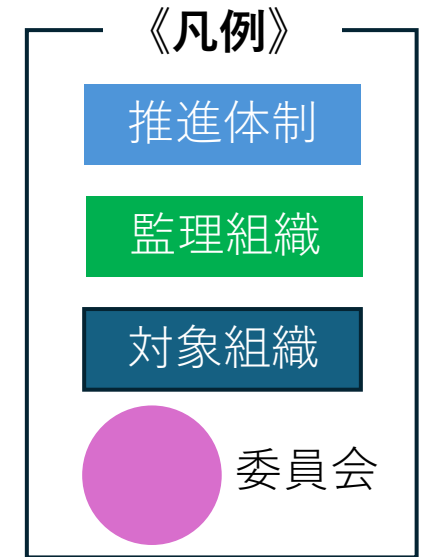
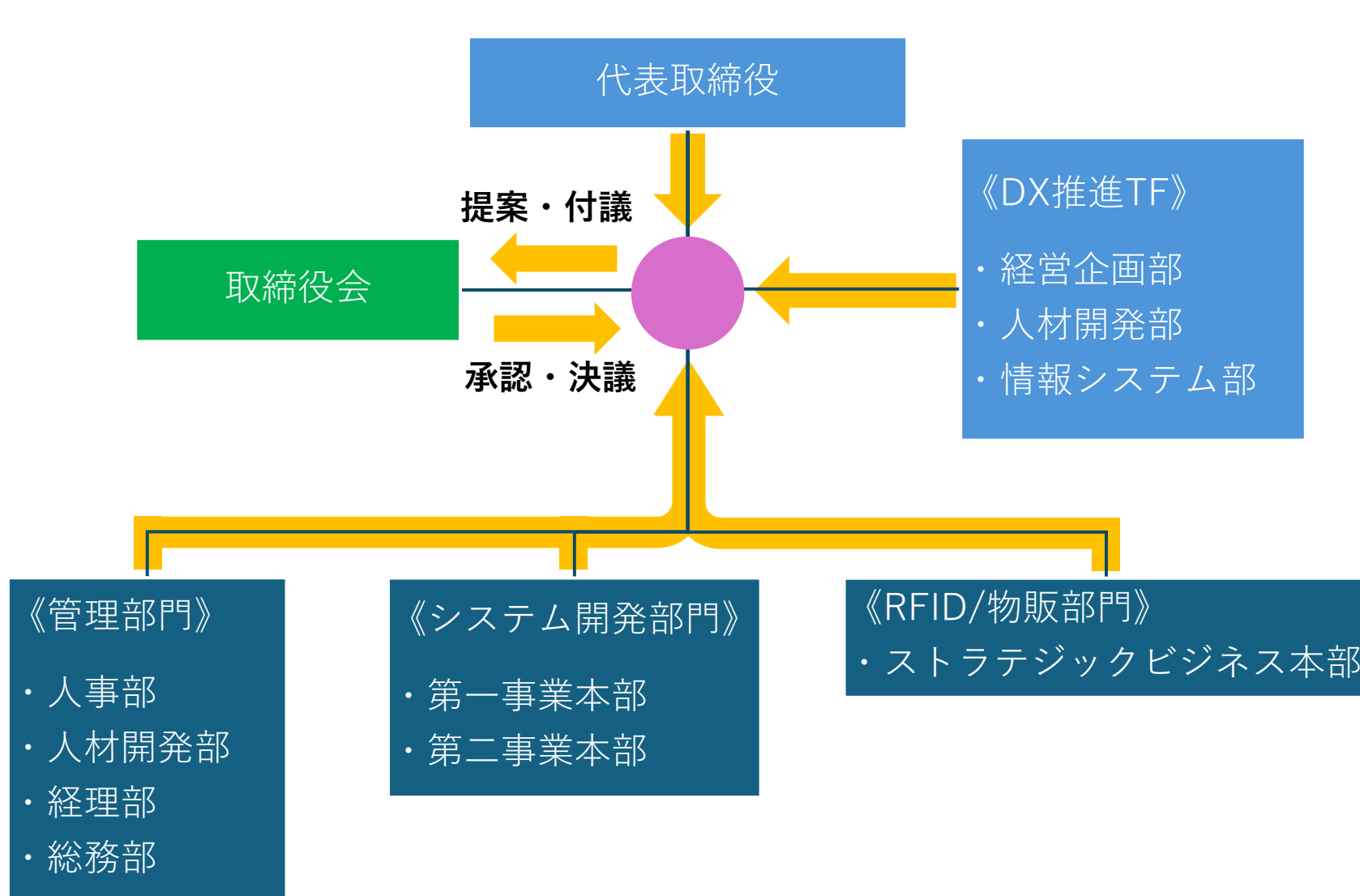
4



DX人材への転換

- ✓ 上記1～3の取り組みを支える原動力を持続的に育成するプログラムの立案、実行
- ✓ レガシー技術からのリスクリングを推進可能とする組織風土の醸成
- ✓ 多様な人材が活躍できる環境づくり





代表取締役とDX推進TF（タスクフォース）が中心となって、推進委員会を定例開催。
推進施策は取締役会に付議し、ガバナンスを利かせながら持続的なステップアップを図る。



DX 経営 目標	事業構造の変革	顧客の新たな企業価値を創造
	自社経営基盤の革新	DX人材への転換
価値 創造	KPI項目：DXに関連するフォーカスビジネス売上高の増加 KPI指標：RFIDソリューション（IoT&エッジテクノロジー）の売上前期比+30%アップ 成長が期待される領域を定義した「フォーカスビジネス」のなかでDXに関連する「RFIDソリューション」の売上を対象とする。 （DTSグループ7つのビジネスのうち「IoT & エッジテクノロジー」にて分類管理）	
自社 革新	KPI項目：DX・AXによる業務プロセスとシステムの最適化 KPI指標：AIファースト・データ活用による定型業務の時間削減▲300h/年 プロセスやツールの集約化、定型業務へのAIツール・データ分析手法の組込み等による時間削減効果（年換算）を対象とする。 （管理本部の業務を強化対象とし、労働8h×業務削減16%×240日/年の見積り）	
人材 転換	KPI項目：DXに関連するスキル保有者の増加 KPI指標：フォーカスビジネスに資するスキル保有者の割合前年比+50%アップ 「フォーカスビジネス」（前述参照）に貢献することができる業務に必要なスキルを対象とする。 （AI・生成AI、データ、クラウド、アプリ・システム、DXソリューション、セキュリティ、PM・コンサル等）	



当社は情報技術（IT）を活用した各種情報サービスを提供する企業として、情報セキュリティの確保は事業活動の重要な課題であると認識すると共に、社会的責務であると考えています。

情報セキュリティの確保に関する法令およびその他の規範を順守すると共に、以下のように情報セキュリティ方針を定め、これを適切に管理、実行していきます。

1. コンプライアンスの徹底
2. 情報資産の保護
3. セキュリティインシデントの予防および再発の防止
4. 情報セキュリティマネジメントの継続的な改善
5. 教育訓練
6. 情報セキュリティ目的の設定

IPA「SECURITY ACTION（セキュリティ対策自己宣言）★★二つ星」宣言済み